

2016年12月01日

「事業領域の拡大」で成長戦略を加速

タングステン加工技術を活用した新事業「冶金(※1)事業」を本格展開

印鑑3品番、耐切創手袋3品番発売



【タングステン印鑑】



【タングステン耐切創手袋】

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、ライティング事業における新事業として、蛍光灯などの光源技術を活用した冶金(やきん) (※1)事業を本格展開します。2016年12月より、加工メーカーなどに「タングステン印鑑」3品番や、作業中に手を保護する「タングステン耐切創手袋」3品番を順次、発売。2018年度には、冶金事業で100億円規模の売上高を目指します。

冶金事業への本格参入は、ライティング事業における「事業領域拡大」の一環です。この事業を担うエコソリューションズ社傘下の「パナソニック ライティングデバイス株式会社(所在地:大阪府高槻市)は長年、蛍光灯など照明ランプに必要な電極部品を自社で開発、製造してきました。この経験を通して、強度、硬さ、耐熱性を兼ね備えたタングステンの加工技術に精通し、ノウハウを蓄積しています。特に、焼結や細線化の技術力が高く、細くて強いタングステン極細線の分野では、髪の毛(80マイクロメートル)の約1/5の太さを実現し、業界トップクラスとなっています。

タングステン極細線は、繊維素材として織って布状に加工できるほか、半導体・回路基板などの検査針、高強度のロープなど、幅広い用途での活用が見込まれています。

今回発売するタングステン印鑑は、3,000℃超という金属の中で最高レベルの耐熱性能と、ダイヤモンドに次ぐ硬度(※2)により優れた耐久性を持ちます。過酷な使用環境でも摩耗することなく、新品同様の美しい刻印を維持し、個人、会社を問わず、次世代まで継承が可能です。

また、タングステン耐切創手袋は、太さが髪の毛の約1/5、強度はステンレスの約2倍という高い強度のタングステン極細線を織ることで「柔軟性」と「高耐切創レベル5(※3)」を実現。工事、工場、農作業などで、刃物を使用する際にも作業性を落とさず、安全な作業が可能です。

当社は今後も、照明のリーディングカンパニーとして、これまで培ってきたあかり技術、モノづくり力を活用した製品を通して、新しい価値を提案していきます。

※1:金属を精製・加工して、目的に応じた金属材料・合金などを製造すること

※2:硬度の尺度の一つであるモース硬度(10段階)で、ダイヤモンドは10、タングstenは9、チタンは6

※3:欧州CE規格による耐切創性能基準。数値が大きいほど耐切創性能に優れ、最高はレベル5

【お問い合わせ先】

パナソニック ライティングデバイス株式会社 お客様相談センター
0120-878-213(受付9:00~17:00)

【ご参考】

■ パナソニック ライティングデバイス株式会社 概要

- 【社名】 パナソニック ライティングデバイス株式会社
- 【本社所在地】 大阪府高槻市幸町1番1号
- 【設立】 2014年 4月 1日
※ナショナル電球株式会社として1936年(昭和11年)に創業し、電球の生産を開始
- 【代表者】 松岡 泉(代表取締役社長)
- 【主な事業】 ・電球、蛍光灯、高輝度放電等の照明用光源に関する開発、製造、販売
・プロジェクター用光源、フィラメント、電極等の照明用デバイスに関する開発、製造、販売
・タングステン等の金属、ガラス材料、および波長制御技術を活用した非照明用デバイスに関する開発、製造、販売
- 【資本金】 4億5千万円(パナソニック株式会社 エコソリューションズ社100%出資)

■ タングステン(tungsten)

希少金属のひとつで、元素記号はW。熱に強く、融点は約3,400℃と金属のうちでは最も高いことから、電球のフィラメントや電子レンジのマグネロンとして利用されています。炭素と結びつくと非常に硬く、モース硬度ではダイヤモンドの「10」に次ぐ「9」にランクされます。重さは金とほぼ同じで、鉄の2.5倍、鉛の1.7倍。タングステンは、スウェーデン語、デンマーク語、ノルウェー語で「重い石」という意味です。



以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。